幕末ふくい　清貧の歌人
『橘曙覧』

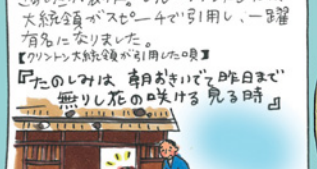
たちばなのあけみ

おくさふくい Stage 20

橘曙覧（1812～1868）

福井に生まれた歌人・国学者。幕末のこの時期、中央歌壇とは無縁の優れた地方歌人が多く誕生しました。新潟の良寛とともに代表的な1人とされる曙覧は「清貧の歌人」。日常のささやかな楽しみを素朴に読みこんだ歌風は万葉調と称されました。国学者として、古代歌人への深い理解が、根底にありました。

「たのしみは…」で始まる52首からなる「独楽吟」は曙覧の人生観が凝縮された代表作。ビル・クリントン元米大統領がスピーチで引用し、一躍有名になりました。

【クリントン大統領が引用した唄】

『たのしみは　朝おきいでて昨日まで
無しし花の咲ける　見る時』